



かえでゆうびん 7月号

2023年7月1日
社会福祉法人 清松学園
幼保連携型認定こども園
かえで保育園
園長 引地 美津代

毎年ですが梅雨に入った途端、あまり雨が降らず、蒸し暑い日々が続いています。これからの季節少し動くと汗ばみ、日差しがきつく日陰を追い求めてしまいます。勝手なもので、あれだけ苦手だった寒かった冬が良かった・など思ってしまいますね。そんな中子どもたちは季節の変化にすぐに順応し、毎日嬉しそうに園庭に飛び出していきます。めばえ・ふたばさんは比較的涼しい午前中に日焼け対策をして園庭に出ています。入室後、シャワーをしてゆっくり室内で過ごしながら部屋から見える幼児の子どもたちの遊ぶ姿をじっと見つめ自分も参加して遊んでいるかのように体を揺らしながら観察しています。幼児クラスの子もたちも窓越しに見えるめばえ、ふたばの子どもたちに気づき、駆け寄り「おもしろがお」を見せたり、自分のできる技を披露したりして子ども同士のなんとも言えない間合いと関わりに異年齢で過ごす良さを感じています。

今月から夏遊びが本格的に始まります。子どもは「土・水・光」があれば1日中楽しめます。園庭の草花も・皆で育ててきた野菜たちもおいしそうな実をつけてくれました。久しぶりに松秀幼稚園から頂く立派な笹付きの竹もそうめん流しに使う予定で楽しみます。夏ならではの遊びを芽生えからだいちょうまで皆で満喫していきます

さて私事で申し訳ありませんが、6月中旬に母が永眠しました。厳しい中にも温かさがあり、私の背中をいつも押してくれた母でした。思い返せばかえでの幼児の子どもたちから「日本の昔の生活を知りたい。そしてどうしても自分の好きな色の着物が着たい。」という手紙をもらい、2日で3着の着物を仕上げてくれたことも思い出しました。小さいころから娘たちの思うことを優先に考え、導いてくれました。また減農薬や旬の食べ物等身体作りに欠かせない「食」を大切に育ててくれました。

おかげで持久力・体力・精神力もしっかり備わった今があります。母の残してくれた様々な「心持ち」を大切に次世代に様々なことを丁寧に伝承していきたいと思っています。

ダンディ・タイム

7月1日(土) カプラで遊ぼうは延期です

9月ごろを予定しています。

園庭のマスカットの手入れを平日 13:00~15:00 で行います。

可能な方はお知らせください

かえでカフェ

7月21日(金) 16:00~17:00

クッキングで楽しみます。

詳しくは後日お知らせします。

おねがい

- ・6月終わりから感染性胃腸炎がまん延しました。兄弟姉妹の小中学校で流行していた場合、園に一報いただくと保育園の衛生管理の強化や対応ができます。どうぞご協力いただきお知らせください。
- ・子どもたちにとっては待ちに待った夏の遊び。水・泥んこあそびで毎日たっぷり遊んでいきます。体調管理・着替えの補充をよろしくお願いします。

- ・園の前は駐停車禁止です。すぐだからと園の前に停車されている方が目立ちます。通行の妨げになるとともに園児の飛び出し等大変危険です。大きな事故になってからでは取り返しがつきません。ご協力ください。皆が気持ちよく使えるよう駐車場利用は短時間で譲り合って使用してください。

おしらせ

7月よりめばえに1名お友達が増えます。
職員も1名入職します。よろしくお願いします。

7月の予定

- * 1日(土) ダンディタイム
- * 5日(水) セタまつり
- * 10日(月) 月例健診
- * 21日(金) 誕生会
かえでカフェ(後日お手紙配布します)
- * 6・13・20・27日(木) 体操
- * 4・19日(火・水) 絵画

~子育て支援イベント~

- * 20日(木) アート

8月の予定

- * 10日(木)~17日(木) 夏季保育
1号認定の方は夏休みがあります。
- ・職員も順番に夏休みをいただきます。職員皆でお子様の生活を見守っていきます。ご安心ください。
- ・保育希望調査票の手紙を配布しますのでご提出ください

先生のメッセージ

この季節になるといろいろな場所できれいな紫陽花が見られるようになりとても嬉しくなります。元々、紫陽花が大好きで誕生日でも鉢植えをもらうほどです。関西でも「あじさい寺」と呼ばれるお寺が多くあり、京都は三室戸寺、奈良は矢田寺などがあり見に行きました。長い階段があったり、山の中腹にあったり、広大な敷地であるため、ゆったり観賞するというより、自分自身に「あそこまでがんばれ」と気合いを入れながらゴールを目指しているような観賞ですが、どちらも見事な「あじさい寺」でした。一度見にいってみてください。園庭の紫陽花もきれいに色づきました。子どもたちは思い思いに落ちた紫陽花を水に浮かべたり、ケーキの飾り、髪飾りなどにもしています。もうすぐ「夏」がやってきます。今年も子どもたちと思いきり夏を楽しみたいと思います。

H先生



かえで保育園では様々な子どもとの関わりがあります。私は現在ふたば組の担任をしており、昨年担当していた子どもたちと今でも色々な関わりを楽しんでいます。クラスが離れてもいつも「おはよう！」と元気よく挨拶を交わしてくれる子どもたち。園庭で遊んでいるとふたば組の子どもたちに「このこ、なまえなんていうの?」「かわいいね」と声を掛けてくれたり、手を繋いで一緒に歩いてくれたりします。又、ふたばの窓から部屋を覗きこんで、手遊びをしてくれたり変な顔をして笑わせてくれたりもします。そんな姿を見て、かえで保育園の異年齢の関わりはなんて素敵で温かいのだろうと感じます。きっと今まで年上の友達から優しく接してもらってきたからこそ、小さな友達に優しくできるのだと感じました。人との関わり心地よさは毎日の繰り返しから生まれます。私も心の底から優しい気持ちで挨拶を交わしたり声を掛けられる保育者でいたいと思います。

K先生

メッセージ



6月17日毎年、小学生が楽しみにしてくれている同園会も無事に開催できました。9割を超える参加に一年に一度、卒園児と会えるのは私たちにとっても楽しみにしている行事です。小さかったときの面影を思い出す一面が見られたり、違う学校に通う子どもたちは「久しぶり」と言葉を交わしたりしながらも、すぐに保育園の時のように打ち解け、懐かしい子どもたちの関わりを見ることができました。友達が困っていると、「こんな風にしたらいいかも、待っているからゆっくりしたらいいよ」など、幼かったときの子どもの関わりから成長した子どもの姿の一コマを見ることができ何より嬉しかったです。ダンディタイムでお世話になっている卒園児の保護者の方にも急なお誘いにも関わらず、快くお手伝いを引き受けていただきありがとうございました。

梅雨の季節で湿度が高い毎日ですが、子どもたちは汗だくになりながらも園庭では恒例の野球、最近ではだいちぐみで流行していた竹馬がひかりぐみでも流行りはじめました。どうしたらできるのか、乗っているお友達の姿を観察して、乗れるようになりたいと決意した子どもは毎日取り組み日に日にできるようになってきています。少しずつやってみたいことを楽しむ子どもたちの姿をこれからも見守り導いていきたいと思えます。

主幹保育教諭 F先生

ほっこりエピソード『はがぬけた』

園内の大きな階段を登っていると、たまたま前を歩いていたいぶき組のIくんが、「あのさ」と話し始めました。「ぼくのねえね（お姉ちゃん）さ、歯抜けてるねん」階段を登りながら突然の報告に「へえ～すごいね」と返してみましたが、そこで後ろを歩いていたTくんが加わります。「え、歯ぬけたの？…なんで？」驚きが隠せない様子、階段を登っていた足が止まりました。「だってさ、ぼろって取れたの」Iくんの言葉を聞いて頭の中で想像を膨らませているTくん、開いた口がふさがりません。

「なんで？歯医者さんいったの？」「ううん、いってないよ。こうやってぼろって」小学生のお姉ちゃんの歯が抜けることを経験の中でなんとなく受け入れているIくんと、「歯が抜けるなんて…たいへん！」といった様子Tくん、2人の微笑ましいやりとりでした。

子ども同士の会話の中には新しい発見や出会いが沢山あるようですね。色々な知識を持っている大人との関わりとはまた違った、まっすぐな子どもたちのやりとり。ついつい笑みがこぼれてしまう可愛いおはなしが、毎日かえて保育園のあちらこちらで生まれています。

子どもたちは真剣そのものなので、頬が緩むのをぐっとこらえながら、大切な子どもだけの時間をこっそり見守っています。

主幹保育教諭 K先生

保護者からのエピソード

ふたばさんになってから、急にたくさんの言葉でお話をする様になり…。かと思えば、色んな歌を歌ってくれ、「かえてほいくえん～」とお姉ちゃんの時にも聞いていた歌を懐かしく感じながら聞いています。急成長にビックリしながらも成り立つ様になってきた会話を楽しんでいます。

ふたば組 ともみさん

かえて保育園に入園して4年目になりました。次は、だいちだね！その次は、1年生だよ！とお姉ちゃんになるのが楽しみになってきました。毎日の話を聞くと、「〇〇が楽しかったよ」や「今日は、〇〇ちゃんとケンカしたから、明日は仲直りするの。」と毎日の成長が楽しみです。

ひかり組 まりさん

だいち組になってから、保育園での出来事ととてもよく話してくれるようになりました。

特に、園外保育でバスに乗ること、おにぎりが必要なことを何日も前から繰り返し繰り返し話します。とても楽しみにしている様です。

これから卒園するまでにどんな話を聞かせてくれるのか親としても楽しみにしています。

だいち組 ゆうこさん

登園するといつも大好きな先生に一直線な娘ですが、自分より小さいめばえ組の子達が泣いていたら、先生を譲っていたと聞いて、園ではお姉ちゃんをしていることがわかり、嬉しい気持ちになりました。

ふたば組 しのぶさん

つぼみ組さんになり約3か月…。やっと泣かないで行ってらっしゃいができるようになってきました。でも、送り迎えを見ていると先生やお友だちに甘えてて大好きなんだなあ～と感じます。これからも、皆で色々感じて、体験して笑ったり、泣いたりして過ごして欲しいです。

つぼみ組 あやかさん

この間、お風呂上りに「頭こうやっこしてごしごしてふけるねん」と一人で髪の毛をふいていた娘。シャワーが始まり、教えてもらったんですね。一人でできることも多い娘ですが、幼児クラスになり、より一人でできることが増え嬉しそうにしています。そんな娘ですが、唯一「だっこだっこー」と甘えてくれます。いつまでだっこさせてくれるかな…♡

いぶき組 あやねさん

今まで逆上がりができなかったのですが、先日「逆上がりできるようになったよ！」と嬉しそうに見せてくれました。

今は、高い鉄棒での逆上がりにチャレンジしているそうで、その練習が一番楽しいそうです。

だいち組 えみさん

6月の子どもたちのようす



活動範囲がどんどん広がり、階段を登ってつぼみや幼児の部屋に遊びに行ったり、園庭の築山や階段を登って楽しんでいます。一番上まで到着すると、ふう！と満足そうな表情を見る事が出来ます。また、お友だちが一番上にいる事に気が付くと、「あっ！」とお互い顔を見合わせて嬉しそうに笑い合っています。



音楽が大好きなめばえ組のお友だち。手を叩いたり楽器を鳴らしたり、思い思いに楽しんでいます。その中でも最近みんなが特に大好きな歌はかばうまさんと一緒に体験した「こちょこちょでんしゃ」と名前うた遊びの「どこでしょう？」です。はーい、と手を挙げたり、ゆらゆら揺れています。ぜひご家庭でも歌って楽しんでみてください。



園庭のクローバーもめばえさん人気スポットの一つです。最初は恐る恐る触っていましたが、最近では自分で触ってみたり、みんなで紫蘇を摘んだ後からは自分で引っ張ってみたり、積極的な様子が増えました。また、ダンゴムシ探しをするつぼみさん達とよく遭遇し、異年齢での関わりが見られる微笑ましい場所でもあります。



お歌の時間が大好きな子どもたち。ピアノや、ボンゴ、タンバリン、マラカスなど様々な楽器を使って音を楽しんでいます。保育者の歌に合わせてリズムを鳴らしたり、楽器の音を聴いてみたりと様々な遊び方で音楽に触れています。今では歌の歌詞に合わせて楽器を鳴らしています。



クレヨンでお絵かきをたくさんしてきたふたば組。今度は絵の具に挑戦しました。6月ということで「あじさい」をイメージし、水色、紫、緑など涼しげな色を使いながら絵の具の感触を楽しみました。手に絵の具をつけて伸ばしたり、ぐるぐるしたりと思いっきり描くことを味わいました。



東三公園へ散歩に出かけました。ちょうちょうが飛んでいるのを見て「まって」と夢中で追いかけていました。普段から虫眼鏡を使って遊ぶことが好きな子どもたちは、色付きの虫眼鏡を嬉しそうに持って、友だちと覗きあったり虫に近づけたりして楽しみました。



洗濯機にままとごで使うエプロンやタオル、赤ちゃんの服を洗濯しています。洗濯かごを持って「洗濯のままだよ」とお家の人の真似をして、家庭を思い出しながら遊んでいる姿も見られます。洗濯物が乾くと、たたんで片付けるところまで楽しんでいます。





～芽が出てきた～

5月に植えた種から芽が出てきました。芽が出てきたのは、メロン、すいか、黄色のすいかです。毎日観察をする中で成長を感じ、嬉しそうな表情で水やりをしています。芽が出て葉が大きくなってきたので、プランターにお引越しをしました。どんな実ができるのか楽しみです。



～お世話してあげたい～

夕方園庭に出ると、めばえ組のテラスに集まることが習慣になりました。テラスで過ごしているめばえ組の友だちを見たり、めばえ組の担任と話をしています。「お世話したいな」と一緒に玩具で遊ぶこともあります。友だちと笑い合う笑顔とは違った、優しく、愛おしそうにめばえ組を見つめる姿に微笑ましく感じます。年下を思いやる気持ちを大切に大きくなってほしいです。



栽培しているトマトが、子ども達とともにぐんぐん成長しています。先月に黄色い花を咲かせていましたが、今では、小さな実をつけています。はじめは1, 2人だけがトマトの様子を気にかけていましたが、少しずつその輪が広がってきました。



園庭に出るとトマトの成長を確認し「赤ちゃんの大きさからお姉さんぐらいになってたよ」「もうすぐで赤くなるかなあ」など成長をみんなで喜んでいます。



「そうそう、そのちょうし」「からだをまえにして」。

子どもたちは竹馬に夢中になっています。だいち組の子どもたちがひかり組の子どもたちに丁寧に教えてあげています。

だいち組の子どもたちも最初は怖くて一歩が踏み出せませんでした。しかし毎日、竹馬にのって今ではスタスタとどこにでも歩けるようになってきました。

一歩を踏み出せたとき、「やった」と一緒に喜んでいました。

だいち組が楽しんでいる竹馬や連続逆上がりに興味を持ち、

「やってみたい!」と挑戦する子どもがたくさんいます。

もちろん、初めから上手にできる訳ではなく、「できない」「難しい」と心折れそうになる瞬間も見られます。様々な葛藤がありながらも、諦めずに努力を続ける姿や、失敗を恐れずに挑戦する姿を近くで応援しながら見守って行きます。





運動発表会で「さあ、出発だ！」と築山へ走り出されたいち組。
 「どこか探検に行きたい」「広い空が見えるところがいいな」と次の旅先に
 選んだ場所は甲山でした。甲山のとっぺんを目指しながらヒメジオンや紫陽花、
 バッタやカタツムリなど身近な自然から「これなんていうのかな」
 「保育園ではみないね」と新たな出会いもありました。
 「いぶきさん、ひかりさんも分かるかな」と体験したことを思い出しながら
 描いた絵を繋ぎ合わせた地図が完成しました。

笹の葉の新芽



5月に職員研修で学んだ笹の葉茶づくりをさっそく取り入れてみました。
 甲山での探検の中でも、みんなが夢中になったのが竹の葉の新芽摘みです。
 2つの葉っぱに挟まれた新芽をすーっと抜く時の感覚がやみつきになり、
 たくさん集めました。園に帰り新芽を炒り、お茶パーティーをしました。
 「どんな色になるかな」「いい匂いしてきた」とそれぞれが感じたことを
 話しながら飲んでいました。最近では、園庭に咲いているミントやみかんの葉っぱ、
 ラベンダーの葉っぱの心地いい匂いに「いい匂い、美味しいかも」と
 子ども達の想像は膨らむばかりです。



お台所から



6月9日 <お茶作り>
 先日、ぐうたら村の研修で教えて頂いたお茶作りをかえて保育園でも
 甲山で採ってきた笹の葉の新芽を使って作る様子に参加しました。
 新芽を炒っていると少しずつお茶のいい匂いがしてきて
 みんな「いい匂い〜!」「お茶の匂いだ!と他のクラスのお友達も覗きにきていました。
 「どんな色になるのかな?」「茶色?緑色?それとも透明?」と
 色の変化や匂いを楽しみながらとっても美味しいお茶が出来ました。
 自然体験で知った「お茶作り」これからどうすすんでいくかいか見守っていきます。



6月になり蒸し暑いお天気にぴったりな「みずようかん」、「みかんゼリー」がおやつにしました。
 「冷たくて美味しい!」「甘酸っぱいよ」とおかわりもたくさんしてくれて喜んでもらえてとても
 嬉しかったです。そして誕生日ケーキには大きいバナナとみかんがトッピングされたふわふわの
 シフォンケーキを作りました。「バナナが大きい!」「フワフワしてる」とケーキをみて嬉しそうに
 食べていました。
 たくさんの量のスポンジに焼くことは難しく試行錯誤していますが、今回はやわらかいスポンジがだせ
 子どもたちも大喜び!次回も工夫して最高のスポンジを作るチャレンジします。
 来月はもものみかんがトッピングされたケーキを作る予定です。おたのしみに!



~7月の献立・予定している食育活動~

夏野菜がおいしい時期がやってきました。
 旬の食材として、なす、ゴーヤ、とうもろこし、すいかが献立に登場します。
 幼児さんだけでなく、乳児クラスにも職位活動としてとうもろこしの皮むきなど旬の野菜にたくさん
 触れる機会を積極的につくっていきたいと思います。
 7月もおたのしみに!

7月のあそびへの思い

めばえ

好きな遊びや気になるものがたくさんで、毎日笑顔で登園してくれるようになっためばえ組のこどもたち。その中で保育者や同じクラスのお友だちはもちろん、幼児のお兄さん・お姉さんとの関わりも増えてきました。園庭に出ると「〇〇くんおはよ〜!」「どこいくの?」と話しかけてもらったり、玩具を手渡して貰ったり、お部屋から園庭をみてガラス越しに手を合わせたり、「かわいいねえ」「わらってるね」とたくさんお世話をしてもらっています。

保育者以外にも異年齢やめばえ組の子も同士での関わりを通し、子どもたちが楽しんで安心できる関係が増え、嬉しく思っています。

ふたば

色とりどりの紫陽花に、梅雨の訪れを感じた季節となりました。

ふたば組は6月「雨にふれる」をテーマに、歌や遊びを広げていきました。かえるの歌やあめふりくまのこなど保育者と一緒に手振りを付けながら歌ったり、小雨の園庭を散歩していると「あめだね」と子どもたちからも指差して教えてくれるようになりました。保育室のガラス窓から雨の様子を眺めたり、あじさいをイメージした色で絵の具遊びをしたりと、保育の中で日本の四季や文化にも触れながらこれからも過ごしていきたいです。

つぼみ

つぼみくみでは、この4月から気持ちの良い朝が迎えられるよう、挨拶を大事に保育をしています。自然と友だちや保育者にも「おはよう」と挨拶をしたくなるような、あたたかい雰囲気の中を過ごせるよう声かけをしています。朝の集まりでは、名前を呼んでいる中で、周りを見渡して「〇〇ちゃんお休みだね」と休みの子どもを気に掛けるような子どもの様子が見られ、素敵だと感じました。歌詞に「おはよう」とでる歌を歌いながら、友だちと顔を見合わせて挨拶を交わしている姿も見られ私たちもほっこりしています。

7月から子どもたちの大好きな水・泥遊びを本格的に楽しみます。体調面に気を配りながら、こまめに水分補給を取り、元気にダイナミックに夏を楽しみます。

いぶき

だいち組やひかり組との関わりの中で、「これはなんだろう」「あれやってみたい」という刺激をたくさん受け、様々なことに興味津々な子ども達です。歌を歌う時もお兄さんお姉さんを意識して大きな声で歌ったり、「塗り絵」や「みつあみ」をしている姿を見つけると、ぼくも私も…と隣に座って遊びが始まります。自然と関わりが深まっていく様子がとても微笑ましく感じます。少し前までは保育者と一緒に楽しむことが多かった子ども達が、自分で考える姿や自ら挑戦しようとする姿に驚かされる日々です。また、お世話されるだけではなく、お世話してあげたい気持ちも大きくなり始めました。異年齢での関わりやクラスの友だちから刺激を受け、初めての発見や気づきに出会い、喜んだり悩んだりする中で成長していくのだと子ども達の姿を見て感じます。成長していく子ども達の思いに寄り添い、一つひとつの楽しい・嬉しい・なんだろう?を大切に保育をしていきたいです。

ひかり

園庭の田んぼ作りでは、だいち組と一緒に土手を作ったり、2種類の土を足で踏んで混ぜ、全身泥んこになりながら土を感じる事ができました。その経験から、絵画遊びで土と水を混ぜて土粘土を作り、水の量を変えながら感触の違いも楽しみました。もちろん、手や身体が汚れることに抵抗を持つ子もいますが、その場を離れずにじっと友だちの様子を見ていたり、友だちが楽しそうに遊んでいる姿を見て途中から参加することもあります。友だちへの興味や信頼から「やってみたい」という気持ちへ変化することもあり、友だち効果は素敵だなと思います。クラスでの集いでも、友だち同士で「お話始まるよ」と声を掛け合う姿が多く見られるようになりました。つつい声を掛けすぎてしまいそうなのですが、ぐっと我慢し友だち同士で気づき合える関係ができ始めていることに喜びを感じながら、もっと深めていきたいです。



だいち

たくさんのお米ができるよう願いを込めながら混ぜた田んぼの土づくりや、見て、聞いて、匂って、触って、味わってと甲山での自然を五感で感じた夏のはじまりとなりました。園庭の紫陽花や朝顔で色水の色の違いを見比べたり、甲山での探検からお茶づくりや地図づくりへといろいろな興味や遊びに繋がってきています。ミントやラベンダの匂いに「お茶にできるかも!?!」とより自然への見え方が変わりつつあります。子どもたちの「みてみてきて」を私自身も楽しみながら、小さな気づきや発見を大切に過ごしていきたいです。



はまかせ

異年齢の関わりも徐々に深まってきており、ペアのともだちのことをお互い気にしたり、ひかりぐみもいぶき組の子どもたちが準備できているかなど気にかけてくれています。あそびの場面でも関わりが多くなっています。今、園庭はたくさんのお虫たちでにぎわっています。ダンゴムシ、アゲハ蝶、あおむし、バッタ、カマキリ、かなぶん…幼虫を見つけるとみんなで覗き込み「なんのむし?」と考えています。そこへだいち組の子が「これは〇〇だよ」。虫カゴで育てるときはどんなものを入れるとよいのか、エサは…などなど教えてあげる姿がみられます。自分自身でも調べたり気づいたこともあります。卒園したお兄さん、お姉さんたちに教えてもらったこともたくさんあります。最後は「おうちにかえしてあげや」。これからも子どもたちへつながっていく素敵な場面でした。

